

旭 小 学 校

創立五十周年・閉校記念誌



旭小学校閉校にあたり

自然と共に… 心に生き続ける旭小学校

伊東市長

小野 達也



旭山の丘の上に建ち、茶畑やみかん園、自然を活かしたアスレチックなど自然環境に恵まれ、特色ある学校として、地域の皆様とともに歩んできた伊東市立旭小学校が閉校するにあたり、関係各位にご挨拶申し上げます。

昭和48年の創立から茶摘み体験など多くの自然を活かした学校行事が催され、近年は「こころを磨きかきこさを身に付け たくましく生きる子」を目標に児童、保護者、教職員、学校に関わる地域の方々とともに取り組んでまいりました。また、自ら考える児童を育成することに注力し、そのような環境で学ばれた多くの卒業生が各方面でご活躍されています。

多くの方々に支えられ、親しまれる小学校でありましたが、近年の少子化により市内の小学校と中学校の児童生徒数が減少したことで、学校の小規模化の進行や学校間の規模の格差などの課題が顕著となり、将来の学校における教育環境、学校運営に様々な影響を及ぼすことが懸念されておりました。

このようなことから、地域の皆様を始め、幅広い関係者からご意見等をいただき、令和元年8月に「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」を策定し、子どもたちのことを第一に考え、将来に渡ってより良い教育環境を提供するため、やむなく閉校し、東小学校・西小学校との統合の運びとなったところです。

しかし、この機会は、新たな歴史の始まりであると捉え、旭小学校の素晴らしい校風で学んだ児童たちは、新たな小学校に移られても、多くの仲間と楽しく学校生活を送られるものと確信するところです。伊東市といたしましても次代を担う児童のため、より望ましい教育環境となるよう全力で努めてまいります。

結びに、この度の学校統合に伴い、保護者の皆様を始め、地域、同窓生並びに旭小学校にゆかりのある方々に、多大なご尽力を賜りましたことに重ねて敬意と感謝の意を表しまして、ご挨拶とさせていただきます。

伊東市教育委員会 教育長

高橋 雄幸



旭山の麓に座し、松川を望む自然あふれる旭小学校。これまで旭小学校は、茶摘み体験、ミカン狩りや旭山探検など、旭山という大自然を余すことなく活用した教育活動を行ってまいりました。この自然とふれあい、自然の素晴らしさを感じることができ、旭小学校で学び、育まれてきた旭っ子は、何にも代えがたい心の財産をもっていると思います。旭山で目を輝かせて遊び、自然とふれ合い勉学に励む子どもたちの姿が旭小学校の伝統となっており、自然や生き物が当たり前身近にある教育環境の魅力強く感じました。

教育委員会では、ふるさと伊東の自然や歴史と触れ合うことを大切に考えておりますが、旭小学校はこの考えを体現する学校でありました。

このような教育活動を長きにわたり実現できたことは、ひとえに子どもたちのためにと旭山の環境整備活動を始め、学校への支援に精力的に取り組んでいただきました保護者・地域の皆様のおかげであり、教育に対する献身的姿勢には頭の下がる思いです。

この4月から旭小学校の子どもたちは、伊東小学校へ通うこととなります。旭小学校は創立50周年を迎える年でもあり、記念すべき節目の年に魅力ある旭小学校が閉校となることは、関係する全ての皆様にとって本当に寂しい思いであると存じます。しかし、旭小学校の教育活動は、かけがえのない財産として旭っ子たちの心の中に生き続けていくと確信しております。旭っ子たちは、旭小学校での貴重な経験を胸に、新しい学校でも伸び伸びと過ごしてくれると期待しております。また、教育委員会といたしましても子どもたちの学校生活を全力でサポートしてまいります。

結びに、これまでの旭小学校の教育活動に多大なるご尽力を賜りました関係者各位に心より感謝申し上げます。閉校にあたっての挨拶とさせていただきます。

心の居場所として

伊東市立旭小学校 校長

濱村 幸美



本校に着任して以来、いつも頭の片隅には“閉校”の二文字があったのですが、何となく現実感が乏しく、どこか他人事のような、また、遠い先の話のような思いで過ごしてきました。それが、閉校記念誌の内容を考え始めた今年の夏頃から、閉校は急激に現実のものになり始め、ふとした瞬間に、寂しさや悲しさが胸に迫ってくるようになりました。何と云っても、小学生の6年間、教育実習生の1ヶ月間、教員として3年間、合わせて9年以上もの月日をここ旭小学校で過ごしてきた私にとっては、単なる母校や勤務先などではなく、「自分の居場所」と言ってもよいほど身近な存在であったことを改めて実感しました。

さて、閉校に向けた準備は、この50年間で残された多くの写真や冊子、文章に目を通すことから始めました。それは、本校の教育活動を支えてきた“もの”や“こと”を再確認する作業でもありました。それでは、本校の教育活動を支えてきた“もの”や“こと”とは何か？あえて3つ上げるなら、それは、旭山の存在と旭小ならではの特色ある取組、そして、保護者・地域の理解と協力だろうと改めて感じました。

私自身もそうですが、本校の卒業生なら、山のあがる学校で過ごし、自分たちの山で楽しさや驚き、喜びをたくさん味わえたことは単なる思い出を通り越し、誇りになっていることと思います。また、茶摘み体験、みかん狩り、凧見せ大会、鯉のぼり集会、旭山で遊ぶ会、松川湖マラソン大会等々、教員や地域の熱意と豊かな環境が生み出した取組は、写真からも当時の熱気が伝わってきましたし、何より子どもたちの笑顔がまぶしかったです。勿論、そうした豊かな教育活動の数々は、開校以来、脈々と受け継がれてきた保護者、そして、地域の理解と協力があってこそ実現できたものだと思っています。

旭小学校はその役目を立派に果たし、閉校いたしますが、今後も多くの方々の「心の居場所」として愛され、50年間の輝かしい歴史とともに語り継がれていくことを願っています。

未来に向かって はばたけ!!

伊東市立旭小学校 PTA会長

藤原 直基



明るい天城の青空のもと、子どもたちを育ててきた旭小学校が50年の節目をもって閉校を迎えることとなりました。

旭小学校の大きな特色と言えば、何と云っても旭山が一番にあげられるのではないのでしょうか。旭小学校といえば旭山というぐらい旭っ子にとっては身近な大切な存在であり、思い出がつまったものがあります。

かく言う私も旭っ子の一人として在学時は毎日、休み時間に友だちと共に旭山を駆け回っていました。時には転んでケガをしたこともありますし、蜂に追いかけられたりもしましたが、大自然の中、四季折々の姿を見せる旭山に多くのことを学ばせていただきました。

時が過ぎ、我が子が旭小学校に通い始めてから、何十年かぶりに旭山と再会を果たすと、旭山は当時と変わらない、優しい姿で温かく迎え入れてくれました。少年時代にタイムスリップしたような感覚を受け、大変感動を覚えたことが記憶に残っています。

このような素晴らしい学校環境を50年間にわたり守り続けていただいた歴代の教職員の皆様や保護者の皆様、そして、子どもたちを温かく見守り続けてくださった地域の皆様には心より感謝を申し上げます。

閉校を迎えるにあたり、少し寂しい気持ちもありますが、旭山の豊かな自然に育まれた旭っ子が、東小学校、西小学校とそれぞれの素晴らしい伝統・文化をもった子どもたちと交わることによって、新たな伊東小学校の伝統・文化を創り上げていく未来を想像するだけで、胸がわくわくしております。

最後になりますが、統合を迎える3校の子どもたちが、希望の未来を見つめ合い、共に励まし、助け合い、信じて、はばたいていくことを心より望んでおります。



学校教育目標

こころを磨き かしこさを身に付け たくましく生きる子

校章



昭和48年4月26日に校章制定委員会を設置し、校章を児童やP T Aから公募し5月1日に決定、同月30日の開校式当日に発表した。

旭の金字に日輪を配し、青葉の葉脈に鉛筆を表す。

- ・ 日輪は金 - 強くたくましい子
- ・ 青葉は緑 - 自然を愛する子
- ・ 鉛筆は銀 - 学習にはげむ子



旭小学校 校歌

作詞 こわせ たまみ
作曲 中田喜直

一、明るい 天城の 青空が

伸びると 今日も 呼びかける

さあ もえあがれ この空へ

みんな 若葉だ 新しい いのちだ

輝け 輝け 朝日にむかって

輝け 旭小学校

二、やさしい みどりの 旭山

のぼれば 今日も ひかる海

さあ ひろげよう 歌声を

みんな 仲間だ ひびきあう 心だ

高鳴れ 高鳴れ 朝日にむかって

高鳴れ 旭小学校

三、希望の 未来を 見つめ合い

りりしく 立とう 時はいま

さあ 行く道は 遠くても

ともに はげまし 助け合い 信じて

はばたけ はばたけ 朝日にむかって

はばたけ 旭小学校



旭小学校のあゆみ



工事中の旭小（昭和47年）

旭小学校区は、伊東市街地よりやや西南に位置する鎌田・岡を中心とする地区である。

この地区はもともと耕地周辺の丘に農地が点在する山村であった。しかし、昭和13年12月の伊東線開通により、伊東市は温泉地として急速に発展し、広野や湯田にも住宅が密集するようになった。

さらに、昭和36年10月には伊豆急行線が開通し、南伊東駅が開設されると、静かであった鎌田の盆地は数年にして市街地と化し、児童数も急増した。

当時、市の中心部にある西小学校は2,000人を超す児童を抱えており、市関係者は「適地に新設校を。」と切に願っていた。

そうした、将来を展望した願いと地域住民の熱い思いが実り、昭和47年6月22日に旭小学校は着工され、昭和48年5月24日に、当時としては最新の近代的建設様式による校舎が竣工した。

昭和48年5月30日、新校舎に教職員32名、児童722名が集まり、体育館で開校式を行い、旭小学校の歴史は始まった。

元号	年	日付	出来事
昭和	48年	4月1日	伊東市立旭小学校創立
		4月5日	西小学校で始業式、入学式
		4月6日	西小学校教室17教室を借用し、16学級で授業を開始
		5月30日	新校舎で開校式
		6月12日	校舎落成式
		11月1日	旭山山道開始
		11月20日	中央花壇完成
	49年	4月20日	中庭に藤棚が完成
	50年	8月4日	25m プール完成
	51年	3月18日	旭山山頂に水飲場完成
		10月2日	校旗発表
	52年	2月19日	校歌発表会
	53年	6月10日	F.B.C. 春花壇で自治大臣特別賞を受賞
	54年	1月12日	プール用更衣室、便所完成
	55年	6月7日	F.B.C. 春花壇で大賞受賞
	56年	5月20日	旭山遊具大修理（PTA）
	57年	5月27日	創立10周年記念祝賀式、植樹（旭山）
	58年	8月26日	シュート板拡張工事
		9月12日	消火栓加圧装置
	59年	2月15日	ペントハウス及び外壁補修工事
60年	1月21日	市教委指定研究発表会	



昭和	61年	6月22日・8月3日	旭山道路の拡幅及び遊具の整備（P T A）	
	62年	4月1日	門野中学校新設に伴い卒業進学校門野中、北中、南中となる。	
		9月30日	耐震補強工事	
63年	3月12日	通学路補強工事		
平成	元年	5月31日	プール塗装及びフェンスネット張替工事	
	2年	9月8日	グラウンド整地 3,900 平方メートル	
		3年	8月26日	校舎窓ガラス飛散防止工事、屋内運動場等改修
	4年	6月17日	創立 20 周年記念式典 植樹	
		8月13日	給食室集水枱蓋改修工	
	5年	2月25日	旭山遊具等設置（第 1 期）	
	6年	6月8日	プール濾過器の取り替え工事	
		8月22日	校舎内の扉取替え工事	
	7年	8月31日	給食室床改修工事	
	8年	1月30日	旭橋通学路防災工事	
		8月31日	校舎改修工事（便所、簡易ドア、電気室）、フェンス改修工事	
	9年	1月13日	旭橋通学路防災工事	
	10年	3月19日	旭橋通学路防災工事	
		8月24日	鳥小屋設置	
		8月31日	給食施設・設備改修工事 給食棟屋上防水工事	
	11年	8月31日	浄化槽解体工事	
	12年	8月31日	管理棟防水工事	
	13年	12月16日	地域と一体となった「松川湖持久走大会」開始	
		2月8日	パソコン室改修・インターネット接続	
	14年	6月26日	創立 30 周年記念行事「歌の会」開催	
		6月28日	プール塗装工事	
		9月6日	屋内運動場防水工事	
		10月31日	校舎トイレ改修工事	
	15年	1月16日	食育指導を開始	
	16年	10月9日	台風 22 号で甚大な被害	
	17年	8月31日	校舎屋上防水工事	
	18年	9月15日	校舎ベランダ手すりの補修	
10月8日		P T A 旭山遊具の一部撤去		
11月26日		「旭山で遊ぼう会」開始		
19年	9月10日	トイレ改修工事		
20年	8月25日	校舎補修工事（教室シンクの補修等）		
21年	3月20日	旭山アスレチック施設ターザンロープ設置		
22年	3月10日	卒業記念植樹（茶・みかん・レモン）		
23年	3月13日	卒業記念植樹（みかん）		
24年	3月18日	卒業記念制作 あずまや 完成（国土緑化推進機構補助）		
25年	9月3日	パソコン室を整備し、児童用パソコン 40 台を設置		
26年	5月12日	トイレ改修工事（3階西側トイレ使用可能）		
27年	8月3日	屋内運動場ガラス飛散防止フィルム工事		

平成	28年	9月1日	センター給食開始	
		9月16日	三校合同サッカー親善試合開始	
		10月16日	運動場檜の木伐採	
		3月8日	運動場新ブランコ設置	
	29年	7月14日	防犯カメラ設置	
		8月8日	電気室工事	
		10月25日	ガラス飛散防止フィルム張替工事	
	30年	5月29日	パソコン室 エアコン設置工事	
		9月10日	運動場低鉄棒設置工事	
1月12日		運動場シュート板補強工事		
令和	元年	4月2日	運動場シュート板塗装工事	
		7月13日	普通教室空調設備設置工事	
		11月10日	最後の「松川湖持久走大会」開催	
		3月13日	体育館女子トイレ換気扇改修工事	
		3月25日	電子黒板設置	
	2年	4月7日～5月30日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校	
		6月1日	2ヶ月遅れの入学式挙行	
		8月11日	会議室 エアコン設置工事	
		10月4日	職員駐車場 法面樹木伐採工事	
		11月7日	運動会の代替行事として 「旭スポーツフェスティバル」開催	
		12月22日	卒業記念制作 旭山看板設置	
		2月9日	校舎網戸設置工事	
		3月3日	無線 LAN 設置工事	
		3月4日	屋内運動場2階窓改修工事	
		3月24日	GIGA スクール構想 タブレット等設置完了	
	3年	5月24日	児童玄関 学校教育目標掲示看板 改修設置	
		5月27日	プール配水管改修工事	
		12月23日	校舎内消防設備改修工事	
2月4日		卒業記念制作 旭山看板設置		
3月8日		6年生が2回目の修学旅行を実施		
4年	4月1日	創立 50 周年を迎える。		
	3月2日	閉校式を開催		
	3月31日	閉校		

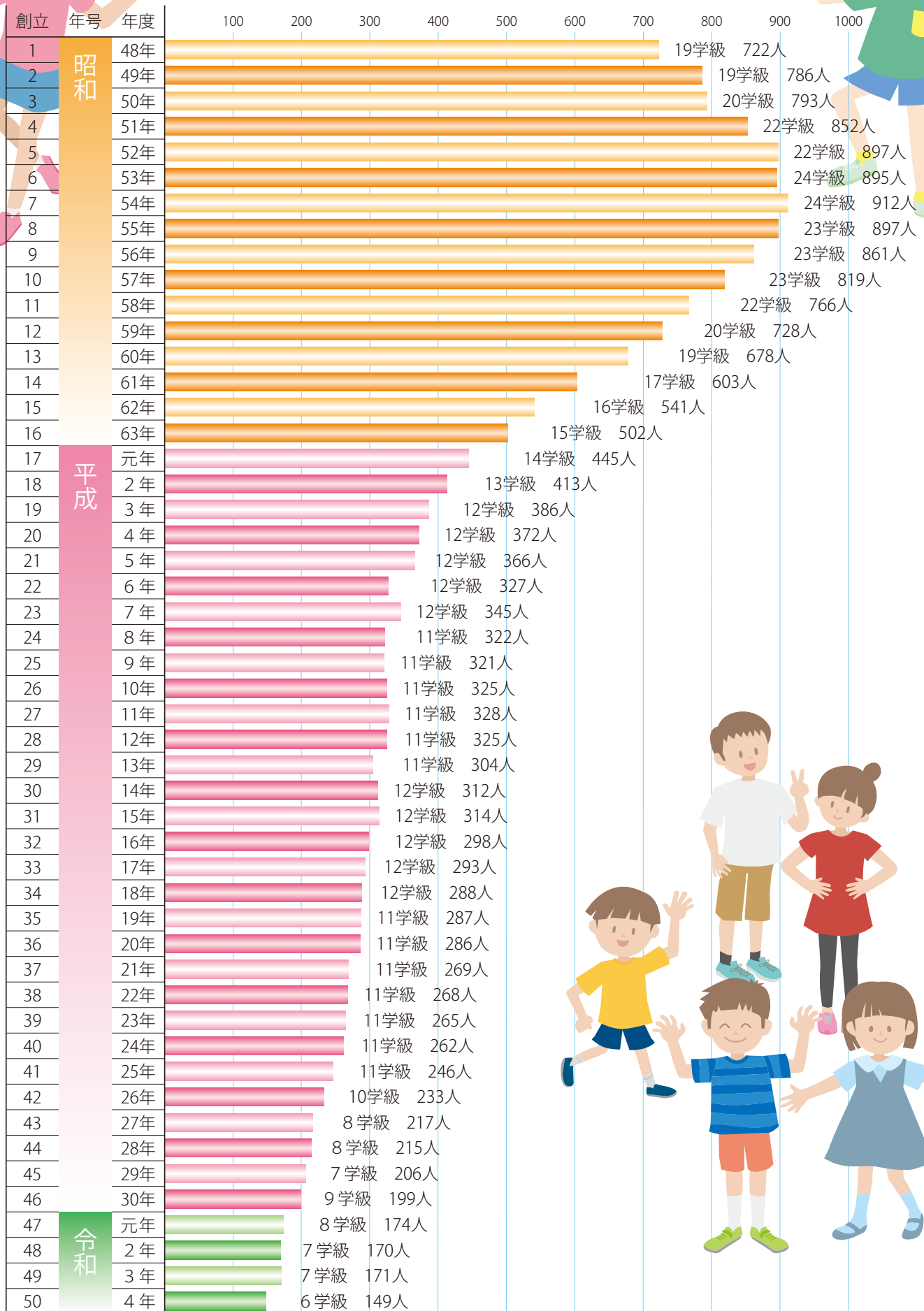
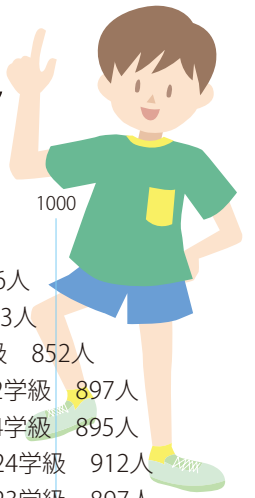
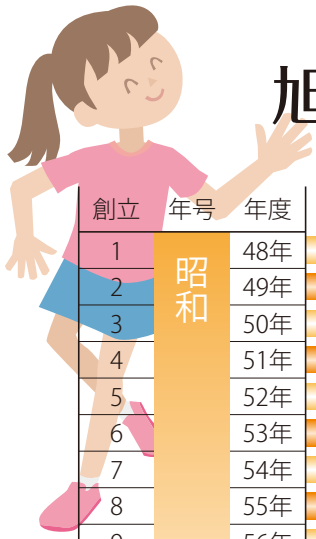


完成間近の旭小（昭和 48 年）



50 周年を迎えた旭小（令和 4 年）

旭小学校 学級数・児童数の推移



思い出の行事・取組

開校（昭和48年）

創立

10

周年

（昭和57年）



西小学校で迎えた1学期始業式(昭和48年度)



西小学校で開催した旭小学校入学式(昭和48年度)



開校当時の様子(昭和48年度)



旭小学校落成式(昭和48年度)



旭橋の開通式(昭和48年度)



第1回 旭小学校運動会(昭和48年度)



全校仲良し給食(昭和48年度)



集団下校(昭和49年度)



菊の品評会(昭和49年度)



学芸会(昭和50年度)



七夕集会(昭和50年度)



キャンプ(昭和52年度)



マラソン大会(昭和51年度)



校歌の発表会(昭和51年度)



修学旅行(昭和53年度)



水泳記録会練習(昭和52年度)



茶摘み(昭和52年度)

運動会(昭和54年度)



キャンプ(昭和54年度)





市内水泳記録会(昭和55年度)



6年生を送る会(昭和55年度)



マラソン大会(昭和56年度)



こいのぼり集会(昭和56年度)



創立10周年記念祝賀式(昭和57年度)



昭和 58 年



創立

20

周年

(平成 4 年)



キャンプ(昭和58年度)



大雪のあとで(昭和58年度)



マラソン大会(昭和59年度)



修学旅行(昭和59年度)



小運動会(昭和60年度)



卒業式(昭和61年度)



小中学校音楽発表会(昭和61年度)



キャンプ(昭和60年度)



卒業式(昭和61年度)



プール開き(昭和62年度)



入学式(平成2年度)



遠足(昭和63年度)



修学旅行(昭和62年度)



卒業式(昭和63年度)



自転車教室(昭和63年度)



リレー大会(平成2年度)



節分(平成3年度)

茶摘み(平成3年度)



1年生を迎える会(平成4年度)



創立20周年記念(平成4年度)



祝 成人



平成5年

創立 30 周年 (平成14年)



児童集会(平成5年度)



発表集会(平成7年度)



クリーン活動(平成7年度)



運動会(平成5年度)



6年生を送る会(平成9年度)



発表集会(平成9年度)



出店集会(平成10年度)



劇の会(平成10年度)



卒業式(平成11年度)



フラワーアレンジメントクラブ(平成13年度)



入学式(平成12年度)



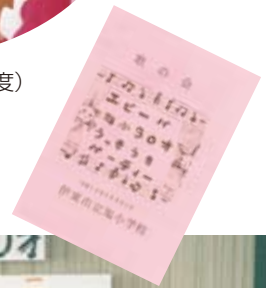
手品クラブ(平成13年度)



児童大集会(平成13年度)



読み聞かせ(平成13年度)



JCサッカー大会(平成14年度)



創立30周年記念 歌の会(平成14年度)

平成 15 年



創立

40

周年

(平成 24 年)



家庭科エプロン製作(平成15年度)



竪穴式住居づくり(平成16年度)



書き初め大会(平成16年度)



ドッジボール大会(平成15年度)



運動会(平成17年度)



水泳指導(平成17年度)



プール開き(平成18年度)



遠足(平成19年度)



旭山で遊ぼう会(平成18年度)



自然教室(平成18年度)



松川湖マラソン大会(平成19年度)



歌の会(平成20年度)



運動会(平成20年度)



JCサッカー大会(平成21年度)



書道科授業(平成21年度)



修学旅行(平成22年度)



運動会(平成22年度)

シュノーケリング体験(平成23年度)



遠足(平成23年度)



修学旅行(平成24年度)



運動会(平成24年度)





みかんとり(平成25年度)



学習発表会(平成25年度)



リレー大会(平成26年度)



旭山で遊ぼう会(平成27年度)



クラブ活動(平成26年度)



遠足(平成28年度)



学習発表会(平成28年度)



6年生を送る会(平成27年度)



運動会(平成29年度)



学習発表会(平成29年度)



自然教室(平成30年度)



修学旅行(令和元年度)



防災学習(令和元年度)



プールの生き物とり(平成30年度)



1年生を迎える会(令和元年)



プール清掃(令和3年度)



図工授業(令和2年度)



児童大集会(令和3年度)



遠足(令和3年度)



スポーツフェスティバル(令和2年度)

令和4年度

創立

50

周年

旭小学校最後の1年は、
とっても明るく楽しい学校生活になりました!!



「令和4年度の行事・取組」は
旭小学校ホームページに掲載されています。
QRコードを読み取ってホームページをご覧ください。
<https://asahi.edumap.jp/>



旭小を彩った 四季折々の植物たち



中庭の向日葵



職員玄関横の躑躅



ピオトープの菖蒲



石碑横の桜



運動場の銀杏



中庭の藤



旭山の紫陽花



中庭の薔薇



職員玄関横の枇杷

思い出の 学び舎



図書室



音楽室



教室



児童玄関



パソコン室



保健室



職員室

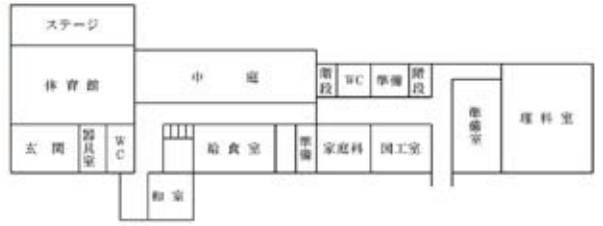


家庭科室



理科室

1階



体育館



図工室

屋外



旭山全景



旭山入口



中央階段



旭山頂上



プール



中庭

歴代 校長

代	氏 名	在任期間（年度）
初代	仁田 彌太郎	昭和 48 年度 ～ 昭和 52 年度
第 2 代	稲葉 正實	昭和 53 年度 ～ 昭和 57 年度
第 3 代	田 中 昇	昭和 58 年度 ～ 昭和 59 年度
第 4 代	高橋 正則	昭和 60 年度 ～ 昭和 61 年度
第 5 代	露木 幸一郎	昭和 62 年度 ～ 平成 元 年度
第 6 代	西島 七郎	平成 2 年度 ～ 平成 3 年度
第 7 代	村松 源吾	平成 4 年度 ～ 平成 5 年度
第 8 代	瀬戸 邦良	平成 6 年度 ～ 平成 7 年度
第 9 代	佐藤 展男	平成 8 年度 ～ 平成 10 年度
第 10 代	遠藤 富士男	平成 11 年度 ～ 平成 13 年度
第 11 代	不二山 哲朗	平成 14 年度 ～ 平成 15 年度
第 12 代	石川 孝雄	平成 16 年度 ～ 平成 18 年度
第 13 代	田 畑 勉	平成 19 年度 ～ 平成 20 年度
第 14 代	勝呂 克彦	平成 21 年度 ～ 平成 23 年度
第 15 代	山田 恵三	平成 24 年度 ～ 平成 25 年度
第 16 代	岩間 範子	平成 26 年度 ～ 平成 29 年度
第 17 代	石井 晴彦	平成 30 年度 ～ 令和 元 年度
第 18 代	瀨村 幸美	令和 2 年度 ～ 令和 4 年度

歴代 PTA会長

代	氏 名	在任期間（年度）
初代	山田 倭男	昭和 48 年度 ～ 昭和 49 年度
第 2 代	林 好輝	昭和 50 年度 ～ 昭和 51 年度
第 3 代	杉山 逸夫	昭和 52 年度 ～ 昭和 53 年度
第 4 代	亘 伸吾	昭和 54 年度 ～ 昭和 55 年度
第 5 代	三枝 功	昭和 56 年度
第 6 代	井戸 賢	昭和 57 年度
第 7 代	日吉 武久	昭和 58 年度
第 8 代	大川 千城	昭和 59 年度
第 9 代	土屋 初男	昭和 60 年度

代	氏 名	在任期間（年度）
第10代	後藤 捷次	昭和 61 年度
第11代	藤原 謙次	昭和 62 年度
第12代	大川 義明	昭和 63 年度
第13代	川口 智久	平成 元 年度
第14代	斉藤 公夫	平成 2 年度
第15代	杉本 興一	平成 3 年度 ～ 平成 4 年度
第16代	市村 有弘	平成 5 年度
第17代	三枝 友明	平成 6 年度
第18代	鈴木 喜代志	平成 7 年度 ～ 平成 8 年度
第19代	堀井 祐三	平成 9 年度
第20代	古屋 晴康	平成 10 年度
第21代	浅田 良弘	平成 11 年度 ～ 平成 12 年度
第22代	土屋 秀樹	平成 13 年度
第23代	岩崎 修也	平成 14 年度
第24代	荒木 正樹	平成 15 年度
第25代	荻野 治	平成 16 年度
第26代	山下 幸一	平成 17 年度
第27代	田渡 敏司	平成 18 年度
第28代	高島 茂	平成 19 年度
第29代	齋藤 誠治	平成 20 年度
第30代	大川 貴生	平成 21 年度
第31代	向井 新吾	平成 22 年度
第32代	小川 達也	平成 23 年度
第33代	佐藤 秀永	平成 24 年度
第34代	長谷川 英和	平成 25 年度
第35代	石井 裕之	平成 26 年度
第36代	稲葉 仁	平成 27 年度
第37代	今北 伸次	平成 28 年度
第38代	青木 敬博	平成 29 年度
第39代	白井 徹	平成 30 年度
第40代	鈴木 和人	令和 元 年度
第41代	大須賀 隆司	令和 2 年度
第42代	鈴木 和人	令和 3 年度
第43代	藤原 直基	令和 4 年度



令和5年3月